

1-4号取水路開渠内の堆積土砂対策工事 の実施について

2026年10月1日



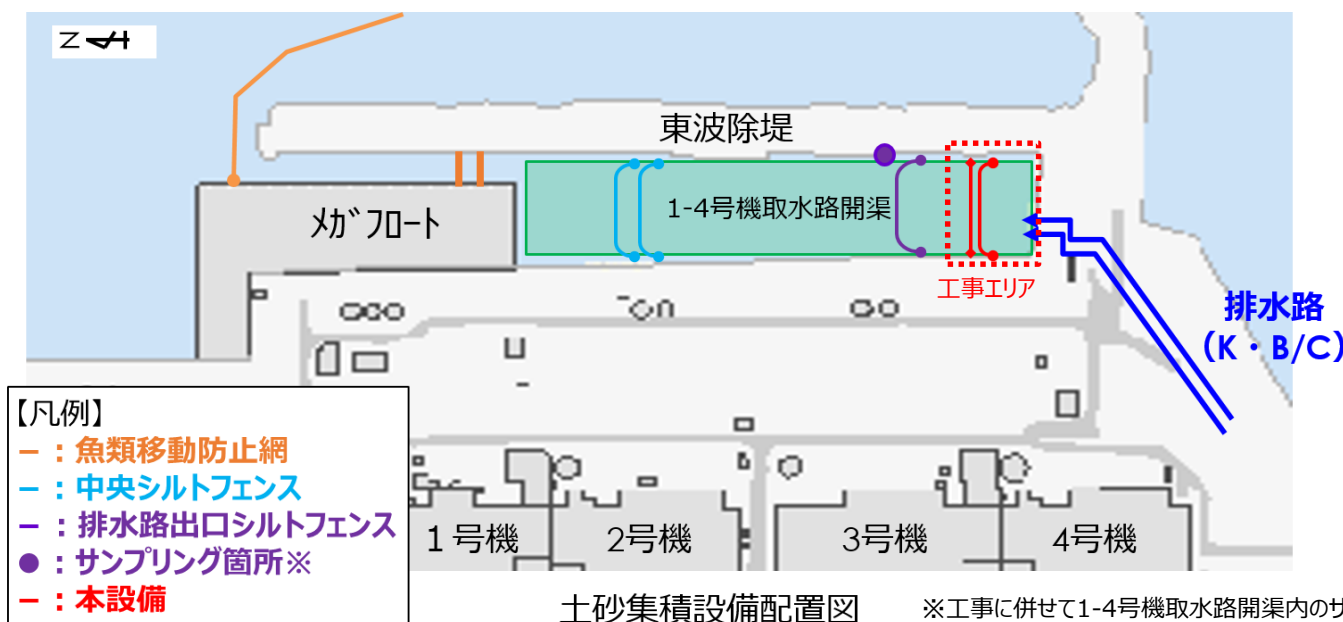
東京電力ホールディングス株式会社

福島第一原子力発電所

1-4号取水路開渠内の堆積土砂対策工事の実施

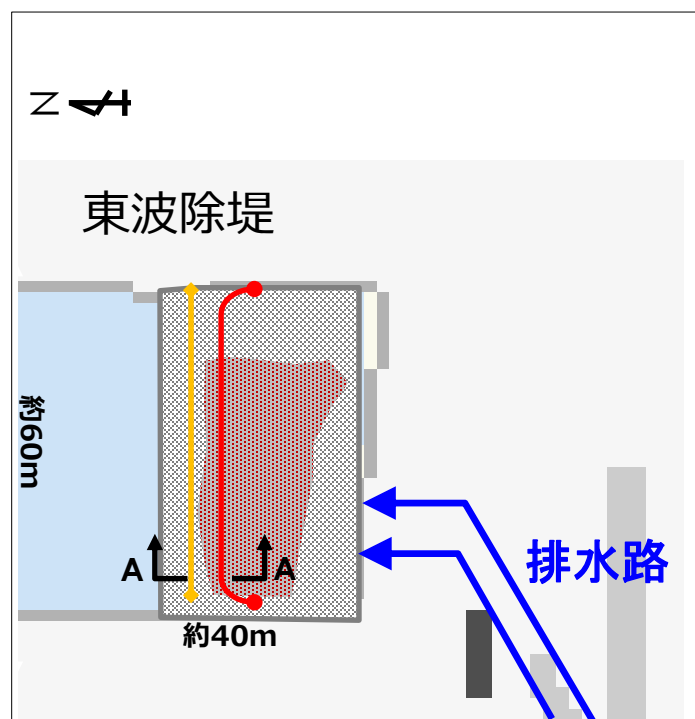
< 参 考 資 料 >
2026年9月28日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

- 福島第一原子力発電所では、これまで港湾の環境改善、魚類の移動防止・捕獲、モニタリングからなる港湾魚類対策に取り組んでまいりました。
- 1-4号機取水路開渠内については、開渠出口の魚類移動防止網の二重設置(2021年10月完了)、網目の微細化(2023年9月完了)、海底の再被覆工事(2024年6月完了)などの対策を実施しております。
- 1-4号機取水路開渠の堆積土調査では、2024年6月の再被覆以降、構内のフェーシングの進捗や排水路内の土砂撤去などにより、一定量の降雨があつた場合でも、まとまった土砂の堆積は確認されていません。一方で、少量の土砂が薄く広範囲に堆積している状況を確認しています。
- これを踏まえ、土砂を安定的に管理し効率的に集積・回収するために「土砂集積設備」の設置工事を2026年10月にも開始する予定です。併せて、1～4号機取水路開渠内の清掃も行います。
- 引き続き、魚類の移動防止・捕獲、フェーシングや排水路内の土砂撤去などの水質改善などにも取り組み、港湾魚類対策を進めてまいります。

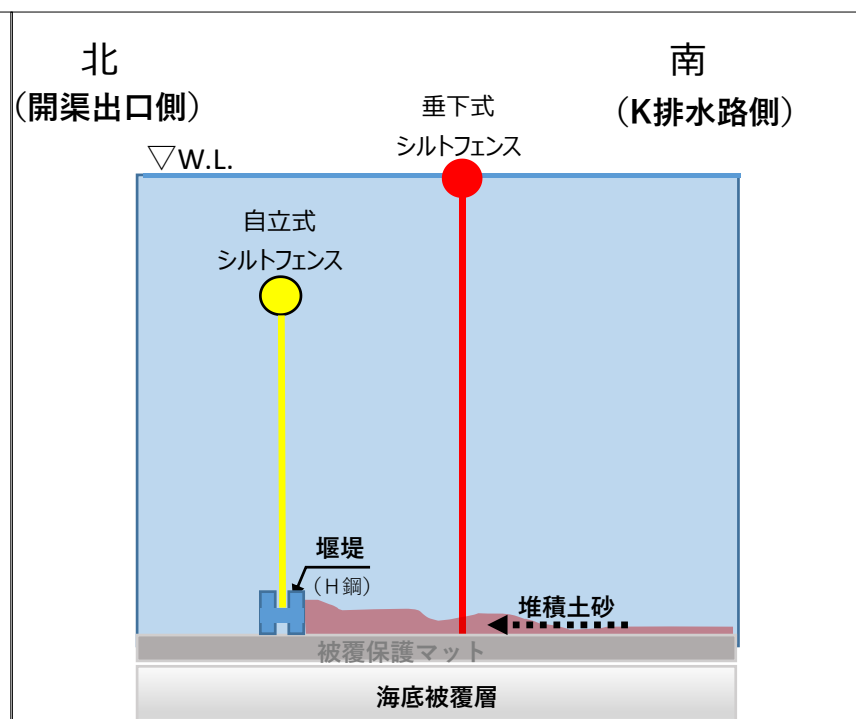


1. 設備の構造

- 堰堤を海底面に設置しシルトフェンス（垂下式・自立式）の並列構成にすることで、排水路側から流入する土砂の拡散を抑止し、限られたエリア内に集積します。



集積エリア平面図



集積エリア断面図 (A-A)

【凡例】

— : 垂下式シルトフェンス — : 自立式シルトフェンス

■ : 堰堤 ■ : 被覆保護マット ■ : 堆積土砂